

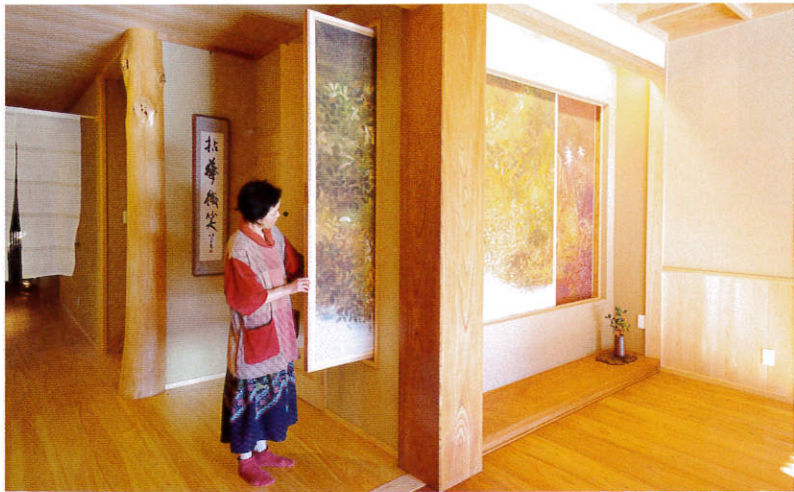
2012年版

# 和風住宅

THE TRADITIONAL JAPANESE HOUSE

特集 節電・エコの時代  
和風住宅の知恵の数々

一流建築家と和風住宅作品  
一流和風住宅作品8選  
特選和風住宅作品15選  
和風住宅の知識



上/玄関右手の待合室。腰掛に囲炉裏を設置。上部は吹抜けで、2階リビングにつながっている。  
 中/玄関ホールには紙芝居舞台風の額縁とした床の間をつくった。季節ごとに絵を換えることができる。  
 ケヤキの大黒柱が印象的。  
 下/堂々とした大屋根の外観。美濃瓦の5寸勾配の反り屋根。それを支えているのは壮大な五重梁の小屋組。さらに40本を越える桔木を使っている。



堂々とした広い玄関。多くの来客にも対応できる。右手は会議室や厨房、左には多目的ホールでもある大広間。奥の階段からは2階の住居部分へ。

おもてなしの心で  
 集える喜びと和む空間

丸平建設株式会社

迫力の大広間がある木造大建造物

岐阜県本巣市の古刹S寺では、本堂に隣接して築後百年以上の庫裏が建てられていましたが、老朽化にともない建て替えられることになりました。庫裏という住居、お寺の寺務所だけでなく、門徒さんたちの集いの場の要素を併せ持つ空間を、絶妙な距離感で調和した建物としています。

美濃瓦の五寸勾配の反り屋根に懸魚を掛けた堂々とした木造二階建。1階が大広間と厨房、2階がご住職一家の居住空間。お客様が気構えすることなく気軽に来てもらえるよう、玄関上部を吹抜けにし、2階リビングとつながりをもたせました。お客様が訪れたときインターホンごしの対応だけではなく、吹抜け上部から顔を見せることができるのが、建て替えを決めたときからのこだわりのひとつでした。

1階は広間2室を仕切る襖がすべて収納できるようにになっており、52畳の大広間として利用できるようなっています。門徒さんたちが使いやすいようにこの広間を中心にプランが組み立てられ、旧来の大広間の懐かしさを残しながら、柱をなくして開放的にしています。また、風が心地よい季節は建物内に風が通るよう、間取りに工

夫がされているのも特徴。寺の山や門徒さんたちの山から伐り出した材なども多く使われている一方、旧庫裏の鴨居をカウンターに使うなどの再利用も行われています。

2階にはややプライベートに近いお客様のための三間続きの和室。そして、廊下を挟んで茶の間とリビング・ダイニング・キッチンが連続しています。ダイニング上部は、力強い丸太梁をあらわしにして、明るく開放的な居住空間としました。



1階の2間続きの大広間。正面にはスクリーンをおろし映写することができ、多目的ホールとしても利用できる。100名以上が一堂に会することができる。

2階の3間続きの和室。少しプライベートに近い接客空間として使われる。



玄関上部の吹抜け。リビングと玄関がこの吹抜けによって緩やかにつながっている。照明には京都・唐長の唐紙を使用。窓の開閉や掃除のためキャットウォークを設けている。



ダイニング上部は木造大建造物を支える力強い丸太梁をあらわしに。



上/リビング側からダイニング・キッチン側を見たところ。障子が照明の明かりをやわらかく反射しているようだ。  
下/大広間の間の襖は片側に全て引き込むことができ、広々と使うことができる。



(2階)



(1階)

**DATA**

設計・施工：丸平建設 株式会社  
 岐阜県揖斐郡大野町稲富2538-8(〒501-0501)  
 TEL.0585-34-2571 FAX. 0585-34-2574  
<http://www.maruhei-net.com> (総合サイト)  
<http://www.maruhei-home.com> (住宅サイト)  
<http://www.maruhei-takumi.com> (社寺サイト)  
 E-mail : info@maruhei.com

敷地面積：4,448.30㎡(1,345.52坪)  
 延床面積：689.49㎡(208.60坪)  
 1階：389.62㎡(117.86坪)  
 2階：291.77㎡(88.26坪)

構造：木造軸組工法  
 家族構成：夫婦+子ども1人  
 所在地：岐阜県本巣市

写真/永野一晃



2階和室床の間。襖には唐長の唐紙を使い、畳は以前の建物のものを再使用。

リビングから、右手は半畳たたみの茶の間、左手は和室前まで続く廊下が続く。左手は待合室から玄関上部の吹抜けに続く。

